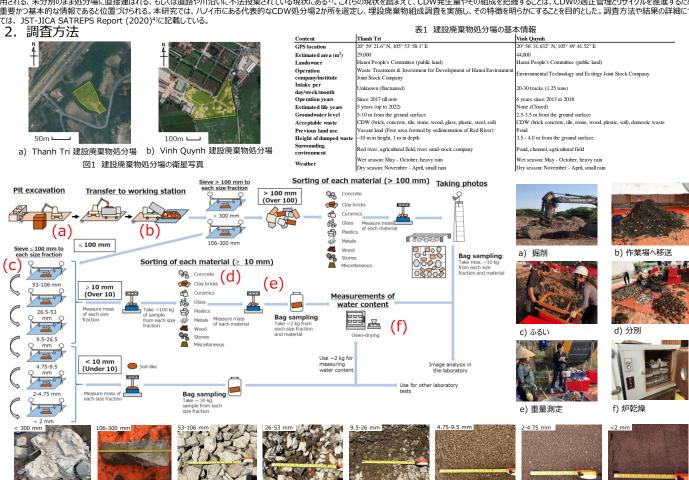


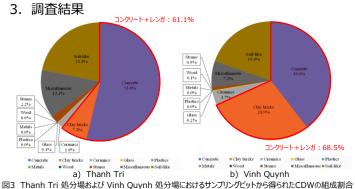
C3-7-P ベトナムハノイ市建設廃棄物処分場における埋設廃棄物組成調査

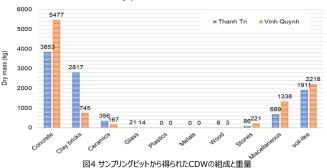
埼玉大学 〇加藤晃, 松野晃大, 川本健 埼玉県環境科学国際センター 川嵜幹生, 磯部友護

はじめに 現在、ベトナムではハノイ市、ハイフォン市、ダナン市、ホーチミン市などの都市域を中心に建設・解体廃棄物(Construction and Demolition Waste: CDW)の発生量が急増している¹⁾。Tuanら(2018) ¹⁾によると、 現在、ハトリカビはクロイル、ハイリカーは、ターブリンは、ボーデェンルはこの部が現金中心に注意で、特体系表物(Construction and Definition Wastes:CDW)の光土量が思すしている。。 ははいら、いしているで、いった、このでは、アーブリンは、アー、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アーブリンは、アー



(JST-JICA SATREPS Report; 20204))

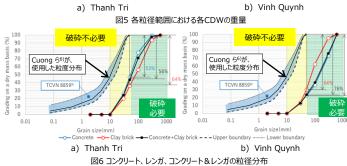




4. まとめ

9.5mm以下は分別が困難 であるため、すべてSoil-likeと して分類した a) Thanh Tri b) Vinh Quynh 図5 各粒径範囲における各CDWの重量

(b)



* Cuong ららは、CDW処分場より採取したコンクリートおよびルンガの再生路盤材への再利用を目的とした試験を行っており、コンクリート単体もしくはコンクリートに対するレンガの重量比が70%未満であるコンクリート・レンガ混合材であれば、再生路盤材として再利用可能であることを示している。

図2 埋設廃棄物組成調査のフローチャート

・ハノイ市に位置するThanh Tri および Vinh Quynh建設廃棄物処分場におけるCDWは、主にコンクリート、レンガで構成されており、次いで、残渣、混合廃棄物、セラミック、小石であった。 ・粒径10mm以上では、コンクリートおよびレンガの総重量に占める割合は、Thanh Tri処分場で39.6%および28.9%、Vinh Quynh 処分場で53.8%および7.3%であった。また、粒径37.5mm以上のコンクリートとレン ガの割合は、Thanh Tri 処分場およびVinh Quynh 処分場でそれぞれ56%および76%であり、再生路盤材としての再利用できればCDWの減量に大きく貢献するが、再利用には破砕が必要であることを示唆した。

謝辞 本研究遂行にあたり、JST-JICA ベトナムSATREPSプロジェクト(JPMJSA1701)の補助を受けた。また、本調査にあたりベトナム国立建設大学、ベトナム建設会社2社(Waste Treatment & Investment for Development of Hanoi Environment Joint Stock Company, Environmental Technology and Ecology Joint Stock Company)の協力を得た。ここに記して厚くお礼申し上げます

参考文献 1) Nguyen V.T. et al. (2018) Int. J. GEOMATE, Dec. 2018 Vol.15, Issue 52, pp.23 – 29. 2) Decision No. 2149/QD-TTg. (2009) Approving the National Strategy for Integrated Management of Solid Waste up to 2025, with a Vision 2. 3) Circular 08/2017/TT-BXD. (2017) Construction Solid Waste Management. 4) IST-JICA SATREPS Report. (2020) SATREPS Report on Waste Composition Survey at Construction and Demolition Waste Landfills in Vietnam. http://park.saitama-u.ac.jp/~vietnam_satreps/index/news/20200707.html. 5) TCVN 8859. (2011) Graded aggregate bases and subbases pavement – Specification for construction and acceptance. 6) Tran V.C. et al. (2019) 4th Int. Conf. Geotech. Sustain. Infrastr. Develop. (Geotec Hanoi 2019)